

## 平成26年度 第2回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	平成26年度 第2回安曇野市図書館協議会
2	日 時	平成26年7月31日 午後1時30分から午後3時10分まで
3	会 場	穂高交流学習センターみらい 多目的交流ホール
4	出席者	内田会長、銭坂委員、隠岐委員、望月委員、三沢委員、福澤委員
5	市側出席者	北條教育部長、赤羽図書館交流課長兼中央図書館長、青柳豊科図書館長、清水三郷図書館長、勝野堀金図書館長、百瀬明科図書館長、小林図書館交流課課長補佐、沖図書館交流課主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年8月4日

1 開会 (赤羽図書館交流課長)

2 あいさつ (北條部長)

3 委嘱書交付

4 自己紹介

5 図書館協議会委員の職務について (事務局)

6 会長及び副会長の選出

【会長あいさつ】

7 報告事項

(1)平成26年度事業計画について【各図書館長から説明】

(委員)

図書館ごとにいろいろな講座や講演会が行われていますが、その内容は毎年どのように決められているのか教えてください。

(事務局)

中央図書館の事業内容につきましては、館長を中心として図書館司書と相談して、講演会の講師についても、今どんな話題が高まっているのか、そのような意見を出し合いながら来年度は誰にお願いしようという形で決定しています。講座についても物を作ったりする講座が多いですが、図書館司書の中で協議して、中央図書館では決定しています。今年の講演会は「原田マハ」さんに決定させていただきました。このように進めております。

(会長)

堀金図書館は乳幼児に特化した講座になっていますが、大人を対象とした講座がありません。何か理由があるのですか。

(堀金図書館長)

特に乳幼児と言いますか、比較的児童コーナーが充実していて、子育て中の親子が大勢集まって来ている。そこでいろんなふれあいが行われています。児童コーナーの充実を図った結果として児童向けの講座が中心となっております。一般向けの歴史探訪とかいろんな講座が考えられる所ですが、スタッフの人数が少ないということもあり、新しい講座に踏み出せないというのが現状です。今後検討したいと思います。

(会長)

今後は、三郷・堀金の図書館が整備されてきますので、是非その辺も考えていただいて、もう少し充実していただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

(2)図書館フェスタについて【事務局から説明】

毎年、図書館フェスタを開催。「～人と、本と、図書館をつなぐ～」というテーマで、毎年9月の第1週の土・日をメインのイベントとして開催しております。読書支援を図るということを目的としながら、また、図書館の利用促進を図るということを目的にイベントを開催しております。今年は「みらい」の開館5周年ということで、図書館フェスタウィークということで、9月2日から全館で共通した取り組みを行いたいということでカードケースのプレゼントやブックコートサービスを行ったりしてフェスタを盛り上げていきたいと考えております。内容に

つきましては、「おはなしのへや」ということで、地元のボランティアのお話しの会の皆様から協力をいただき、おはなし会を開催。地域学習室では「図書リサイクルコーナー」を設置。6日の多目的ホールの行事は5周年記念ということで、記念式典を開催し、その中で図書館川柳の表彰式も合わせて行いたい。式典に続き、穂高商業高校吹奏楽部によるコンサート、続いて朗読ライブを計画しています。今年の朗読ライブは朗読と琴の演奏を交えて行います。展示ギャラリーでは、カードケースづくり、きらきらしゃぼん玉、英字新聞を使ったエコバックづくりを計画。7日は、「魔女の宅急便」の著者の角野栄子さんに講演を行っていただく予定です。松本山雅FCオフィシャルマスコット「ガンズくん中央図書館長」を計画しています。

(委員)

中央図書館ができて5周年ということですが、設立をしようと計画されたのはいつごろからですか。それから、どういう構想で図書館をお造りになったか教えてください。

(事務局)

平成17年10月1日に5町村が合併して安曇野市になりました。合併協議にあたり、合併前の各町村で文化施設である図書館構想を持っておりました。合併前に既に完成していたのが明科でございます。明科は「ひまわり」という愛称で、図書館、学習館、児童館が併設されている複合施設でございます。他の町村は、図書館を整備していきたいということで、合併協議に持ち込まれました。合併後に図書館を主としてどのように整備していくか会合が持ちまして、旧町村の基本的な計画を引き継ぐということになりました。穂高に関しましては、穂高町民会館に図書館がございました。豊科は豊科庁舎の北側の公民館の中に図書館がありました。三郷・堀金につきましては、公民館の中に図書室という形でありました。それぞれに図書館が必要ということで計画を持ち、穂高地域の場合には、図書館と顕彰館の複合施設という計画を穂高町時代から持っておりました。豊科につきましては図書館と近代美術館とのコラボレーションということで、複合施設としての交流学習又は生涯学習施設としての構想を持ち、計画を進めてきたわけでございます。その中の財源、補助をもらったり、交付金をもらったりという都合がございまして、基幹的なものを真っ先、ここを中央館、市の統括館として5年前、平成21年9月にオープンをさせていただきました。そのあと、1年遅れで同じ交付金をもらいました豊科図書館がオープンしました。明科は既にありましたので、三郷・堀金がこれから整備されるということでございます。

### (3)三郷・堀金図書館の整備について【事務局から説明】

三郷、図書館を含めた交流学習センター及び堀金図書館の計画について説明

- ・三郷支所・三郷交流学習センター施設整備 検討経過及び市民ワークショップの意見集約について
- ・同施設計画図案について
- ・堀金図書館の整備計画案について
- ・今後のスケジュールについて

(委員)

経過の説明で、補助金制度が延長されたというお話がありましたが、その制度の説明をしていただけますか。また、図書館を作るのには大きな金額必要だと思いますが、財源はどのように確保されるのでしょうか。

(事務局)

図書館は文部科学省関係の施設になりますが、合併前に図書館関係の補助金は無くなってしまいました。穂高と豊科は「まちづくり交付金」という、まちの中で文化施設を複合施設として、他の施設と併せて整備する時にもらえる交付金を使って建設しました。先程説明した合併特例債は、合併した市町村のみ利用できる制度で、起債、いわゆる借金として借入れができる制度で、これが合併から10年間という制度でございました。これが震災の関係で5年間延長されました。借金の返済時に国から補助をもらえるという制度です。三郷の当初計画は、立て直したのではこの期限に間に合わないということで支所を改修する計画でありましたが、合併特例債の期限が伸びたということで再検討し、こちらの計画の方が有利ということで計画が変更になったということです。

(会長)

三郷交流学習センターで、グループ学習室が2室、地域学習室が2室あり、図書館と壁で独立していて、グループ学習室で図書館の本を利用した場合に、中央図書館でも本が無くなったということですが、ここのセキュリティはどのように考えていますか。

(事務局)

ご指摘をいただいた開架部分と繋がっているということですが、この構想では繋げています。小中学校の先生方とお話しをしたときも、クラス単位の地域学習を熱心に行っているということでした。グループ学習室を繋げると1クラスが入れるスペースになります。図書館内から本を選んで、グループ学習室に直接入れるように考えています。そうしないと、図書館で貸出手続きを行って、一度図書館入口から出てグループ学習室に行かなければならなくなりますので、使い勝手としてこのように考えています。使用目的によって、図書館側、西の通路側の施錠を使い分けて利用したいと考えております。

(会長)

施設整備については、本日7月31日、8月20日に堀金支所等整備市民ワークショップが開催されます。市民の皆様から意見を聞く機会を設けて検討していく予定となっておりますので、経過を見守りながら図書館協議会委員の皆様も参加いただけたらと思います。

#### (4)その他【事務局から説明】

6月に中央図書館の蔵書点検を行い167点の図書、DVD、CDなどの不明資料があることが判明。その後10数点ほど存在が判明した資料もございますので、現在では150点程度となっております。中央図書館の入口に不明資料リストということで掲示。利用者の方にも状況を認識していただくために掲示したものです。特に購入価格が高額なDVDの紛失等が増えてまいりまして、対策として昨年度配置をカウンターから見える位置に変更を行いましたが一方向に改善を図ることができませんでした。今年度防犯カメラ設置の予算を認めていただいておりますので、近々必要最小限の設置を年内には行う予定となっております。そういうことで更に不明本の減少に取り組んでまいります。

(会長)

委員に皆様から何か良いアイデアなどありますでしょうか。

(委員)

先週、東京都の豊島区立中央図書館と都立図書館を見てまいりました。そうしたら透明なビニール袋を持って読書などをしておりました。聞いてみますとリュックとか鞆はコインロッカーに入れて、必要なものだけ透明なビニール袋に入れて図書館を利用することになっているそうです。なるほどと思いましたが、ロッカーを多数用意しなければならないので、防犯カメラも仕方ないと思います。

(委員)

DVDなどの高価なものが持ち去られるということで、機械を通さないと持ちだすことができないというような方法はとれないですか。

(事務局)

DVD、CDにICタグを付けてあります。ただし、本とは違ってパッケージと中身という形になっており、中央館、三郷、堀金はパッケージの中に中身を入れて開架をしております。そのパッケージにはICタグを付けてございます。豊科と明科はパッケージにICタグを付け、空のパッケージを開架に置いて、本体はカウンターに置いてあります。いずれも設置方法は異なりますが、本体にはICタグを付けてございません。本体に付けた場合にプレーヤーに入れた時に機械が壊れる可能性があるということで、付けていないものです。どうして全て中身を別にしないかと申しますと、三郷と堀金はカウンターに近いので監視体制が強いのですが、中央館は資料数が6,700点あることから、これをカウンター管理で行うことは時間と手間と利用者の待ち時間による混乱があるということで行っておりません。しかしながら、今後はカウンターにスペースをとって実施する方法も検討いたしますが、当面は目視と防犯カメラの設置により、防犯カメラ設置という表示をして抑止力として効果を出させていただけたらと考えております。

(明科図書館長)

当初、みらいにDVD、CDを入れるときに、全面タグというものがあるということで検討したのですが、DVDでも両面の物もあり、また、システム上のこともあって、利用者の善意を信じていまの形になっております。

(会長)

いろいろ条件がそろわないと難しい面があることが分かりました。委員の皆様もよその図書館でこんなことをやっているよということがありましたらご連絡いただけたらと思います。それでは、他にありませんでしょうか。

(事務局)

「青木祐子さんと一緒に朗読駅伝、鱒物語」が、8月3日に明科の「ひまわり」で開催。定員にまだ余裕がありますのでお申込みいただけたらと思います。

(事務局)

今後の日程の中で、先進地視察を予定しております。ご承知置きいただきたいと思います。

(以上で閉会)